

2021 年 12 月 22 日

首都圏交通媒体事業社 11 社局による オーディエンスの可視化に向けた取組み（進捗と今後の進め方） ～データによる交通広告媒体価値の見える化を推進～

交通広告メジャメント標準化検討会

首都圏において交通広告を販売・管理する鉄道事業社ならびにハウスエージェンシーの 11 社局で構成する「交通広告メジャメント標準化検討会」は、通勤・通学など生活者の外出時に接触する代表的な広告媒体である交通広告を、より一層広告主の皆様にご活用頂くため、媒体接触者（オーディエンス）の可視化を図る手法（メジャメント）の標準化に向けた検討を進め、駅構内複数媒体においてデータ取得の実証実験を実施、そこで得られた知見や課題をもとに、広告会社様及び広告関連団体様等に実証実験の結果報告を行い、概ね進め方についての賛同が得られましたので、下記のとおりご報告します。

なおメジャメントの標準化については、当検討会で引き続き更なる取組みを進めることとします。

1. 実証実験の目的

駅広告媒体を対象に、Wi-Fi やビーコンなどのセンサー等により常時取得するアクチュアルなデータをサンプルデータとして、統計手法等を用いて可視範囲内（＝Viewable）における性・年齢などの属性別のユニークな媒体接触可能人数、および接触回数を日別・時間帯別に算出し、そのデータの妥当性、応用範囲について検証する。

2. データ取得のための実証実験概要

（1）実施期間

2021 年 1 月 25 日（月）～2 月 28 日（日）／35 日間

（2）実施箇所

各社局にて任意の 2 拠点を選定、計 22 拠点（デジタルサイネージ・サインボード等）で実施

（3）データ取得の範囲

選定した拠点において「接触可能人数」を取得することを前提に、広告媒体のサイズによって可視範囲を踏まえ 2 パターン（【参考】1）の取得範囲を設定

(4) 媒体接触可能人数算出の方法

センサー等を活用し、異なるデータ取得のソリューションを有する会社から3社を選定。Wi-Fi、ビーコン、通信キャリアデータ等により、設定範囲内の人数データ取得を同時に行った。また取得データから接触可能人数及び属性を推計するロジックについては拡大推計・AI等、各社独自のソリューションを活用した。

(5) 算出した媒体接触可能人数の検証

全22拠点中、複数箇所の実験期間中の参考データ（人手によるカウント調査等）を取得。算出した媒体接触可能人数との比較検証を行った。

3. 実験結果の総括と課題

(1) 確認できたこと

参考データを取得した拠点において、実証実験パートナーが算出した媒体接触可能人数が、同時期の参考データに対して一定程度の相関関係が確認されたことから、「センサー等により取得するアクチュアルなデータをサンプルデータとして、統計手法等を用いて可視範囲内における媒体接触可能人数を算出する手法」は有効である。

(2) 留意すべき課題

- ① 計測を適正に行うためには、対象広告媒体のロケーションによりセンサーによるデータ取得範囲、および推計ロジックのチューニングが有効であり、そのためには定期的に複数エリアでの参考データとの比較検証を行うことによりパターン化を行うことでその精度を向上できる。
- ② 推計を行う際の前提として、次の4点を明確にすること。
 - 計測範囲（納得感のある範囲で計測できているか）
 - サンプルデータの前提（サンプルデータの偏りはないか）
 - サンプルデータの量（推計に足るサンプル数か）
 - 推計ロジック（納得感があるロジックか）
- ③ 上記4点について、常に改善を検討すること。
- ④ データ取得コストの低廉化や、新しい技術を取り入れること

4. 今後の活動方針

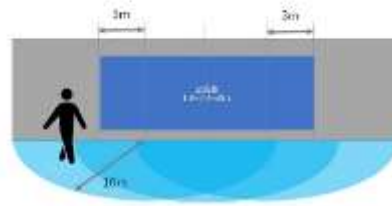
当検討会では今回の実証実験で得られた知見と課題を踏まえて、広告会社様・広告主様等のニーズを踏まえつつ、引き続き広告媒体についてメジャメント標準化及び得られたデータの活用方法、テレビ・Web等の他メディアとの連携に向けての具体的検討を進める他、車両内における媒体価値の可視化に向けたメジャメントの手法を検討することとします。

【参考】

1. 駅広告媒体におけるデータ取得範囲

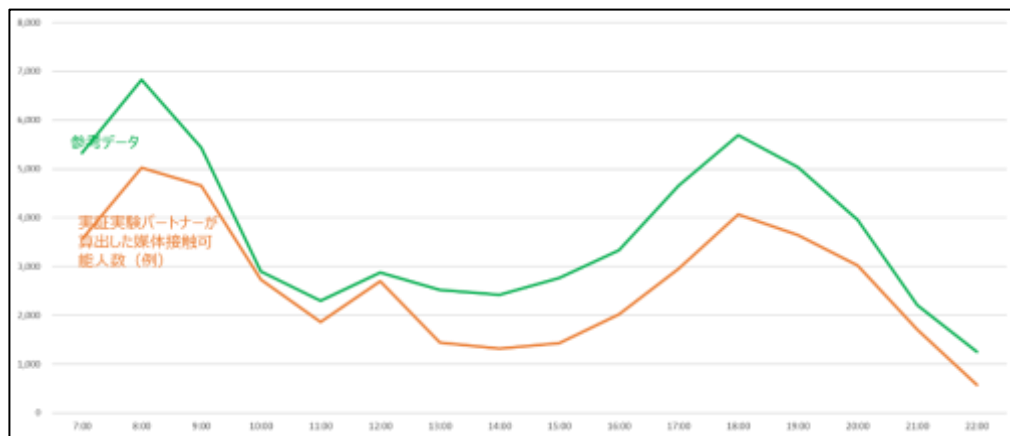


一般的なサイズの媒体



大型の媒体

2. 算出した媒体接触可能人数と参考データの相関例



【交通広告メジャメント標準化検討会】

(株)小田急エージェンシー、(株)京王エージェンシー、(株)京急アドエンタープライズ、
(株)京成エージェンシー、相模鉄道(株)、(株)ジェイアール東日本企画、西武鉄道(株)、
(株)東急エージェンシー、東京都交通局、東武鉄道(株)、(株)メトロアドエージェンシー